



未来を夢見て

2020/11/30 No. 49

「おとうとねずみチロ」1年生授業研究を終えて

11月27日（金）、担当の西條先生と一緒に今年度2回目の宮床中学校区児童生徒健全育成委員会に参加しました。協議では「健全育成標語コンクール」の審査があり、投票の結果、見事本校6年生Sさんの「学校に 行きたび広がる 笑顔の輪」が最優秀賞に選ばれました。感染症対策のため休校期間が長かった今年度を象徴するような作品で、当たり前の日常を取り戻せた喜びが素直に表現されている秀作でした。また、優秀賞には3年生Hさんの「スマホより かぞくのじかん たいせつに」が選ばれました。こちらの作品も、五七五の中に今の御時世が見事に反映されていて、すばらしい作品でした。

その会議で、ある行政区長さんから「孫から修学旅行のお土産をいただきました。小学校生活最後の思い出に修学旅行を実施していただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を伝えていただきました。このように直接感謝のお声を聞かせていただくと、私たちにも本当に励みになります。



同日、1年生の授業研究会が行われました。授業学級は1年2組、指導者は猪股純子先生です。残念ながら検討会には参加できませんでしたが、授業だけ参観させていただきました。

題材は「おとうとねずみチロ」です。授業では、本文にサイドラインを引いたり、ワークシートに書き込んだり、また、チロの気持ちをバロメーターで確認したりと、本校の研究で取り入れられている手立てを用いて、チロの気持ちの変化を読み取っていきました。

1年生の先生方には、11月の臨時休業の期間中も Google Classroom を上手に活用して、テレワークで指導案検討を行い、今回の授業づくりに取り組んでいただきました。最近私も Google の Keep やドキュメントを活用するようになっていますが、情報が cloud に保管されているので、家でも手軽に仕事ができ、その使い勝手のよさを堪能しています。一昔前、退勤するときに（自慢げに）ワープロを持っていたのが、随分懐かしく思います（平成一桁 ちょうどバブルのあたりかな・・・）。



今回の研究でも、猪股先生の授業の前に岩手千春先生と佐々木早智先生が授業を行い、佐藤雅子先生は検討会を終えてから本日、授業を提案していただきました。1つの授業を学年で協力して作り上げるスタイルは、確実に先生方の指導力向上につながり、ひいては子供たちの力になっていくことを今回も実感しました。お忙しい中、授業研究に取り組んでいただいた1年生の先生方お疲れさまでした。

徳田教頭先生がPTAの皆様や学年主任の先生方と何度も相談し、苦労を重ねた結果、今年度初めての授業参観が地区別で12月18日（金）から23日（水）まで4日間で実施することが決定しました。感染症対策のため、保護者の皆様には一家庭一人1回限定、参観の時間は20分程度とお願いしています。ただ、教室で短い時間でも、担任の先生と子供たちの授業の様子を見ていただくことは、何より子供たちの励みになり、保護者の皆様の安心につながると思います。

体育見学会に続き、年度当初にはない新たな取組で、年末に向けて、忙しくなるかと思いますが、先生方、どうぞよろしくお願ひします。

（文責：手代木）